



Change! 2022 ニュース

No. 30

Change! 2022 推進委員会 2021. 12. 15 発行

▼ 会員増強に思う

いち 「一メンバーのつぶやき」

直前東日本区書記

小山 久恵 (東京サンライズ)



ここ数年、会員増強が重点目標になっていて、色々な場面で様々な方法を使って、新入会員を獲得するよう発破をかけられています。中でも、若い人が望まれているので、周りに適任者がいないか考えてみたのです

が、息子夫婦しか思い当たりません。彼らは仕事と子育てに忙しく、しばらくは無理と言われました。

若い人の大半は同じような状況ではないでしょうか。子供の手が離れ、時間を自由に使える方を見つけるのは、難しいと思います。私と同世代の年寄りの友人は、暇を持て余していますが、気難しい人が多く、断られます。あまりしつこく言うと、自分が新興宗教の勧誘者になったような気がします。

「東京サンライズクラブ」はチャーター時、メンバーの年齢は 30～40 代半ばで、例会は出勤前の朝に行っていました。夫曰く、全員知らない人で、初めは義務感で出席していたが、そのうち打ち解けて馴染んでいったそうです。山中湖センターや妙高へ家族連れで行き、バーベキューや野球、スキー等を楽しみました。子供同士も知り合いになりました。このように、同世代の人々でクラブを作り、仕事とクラブが両立できるようにメンバーで工夫すれば、例会にも出席しやすくなるでしょう。

年齢層の高いクラブでは、数歳年下の方をお誘いすれば、何年か後には若返ってきます。中には異世代の人の話を聞くのが好きという若い方もいらっしゃいますが、無理して大きく年の離れた若者をターゲットにすることは無いと思います。

私たちのクラブには、退会した人、卓話者、ゲストで見た方、入会候補者等の友の会である『参遊會』という組織があります。名前の由来は「サンライズで遊ぶ会」で、毎月ブリテンを送り、イベントがあるときは直接連絡を取って、参加していただいています。まずは本腰を入れて、この参遊會のメンバーを、クラブのメンバーになっていただくようお願いすることになりました。ここでネックになるのが会費です。実際、会費が払えないという理由で退会なさった方もいらっしゃいます。各クラブの会費額を聞いて、少ない額のクラブが、どのようにやりくりしているかを教えていただきたいと思います。

せっかく入会しても、すぐに退会してしまう方も多く、引き留める技も必要です。大会や周年行事に出席した時、誰も知らない中で一人ぼっちにならないよう、気遣ってあげることが大切です。

私自身は、ワイズに入会してお友達の輪が増えました。外国人の知り合いもできました。卓話で知識を得ました。今ではメンバーと例会だけではなく、個人的にお付き合いしています。

ワイズの楽しさを、気難しい友人たちに熱意をもって、また話してみるつもりです。Change! 2022 の運動が、少しでも目標に近づくよう、メンバー一人一人の自覚が大事です。心して取り組みましょう。

《 小山久恵さんのプロフィール 》

1951年3月27日生まれ

1989年 東京サンライズクラブ・メネット入会

2002年 東京サンライズクラブ入会

2007 - 2008年 クラブ会長(09-10、19-20年度会長)

2012 - 2013年 東日本区地域奉仕事業主任

2013 - 2018年 東日本区 LT 委員

2015年 BF 代表

2016 - 2017年 あずさ部書記

2020 - 2021年 東日本区書記、あずさ部書記

2021 - 2022年 東日本区文献・組織検討委員会委員

▼ ワイズ・ナイトフォーラム

「第3回ワイズ・ナイトフォーラム開催」

Change! 2022 推進委員

伊藤 幾夫 (東京多摩みなみ)



最終回となる第3回フォーラムは、11月21日(日)20:00~21:45 オンライン(Zoom)で開催されました。

第1部の卓話者は、ワイズメンズクラブ国際協会元書記長の西村隆夫さん(現在はチェンマイクラブ所属)で、『国際書記長としてタイでの

生活とオリンピックボランティアの経験』と題して、お話ししていただきました。

1982年の大阪センテニアルクラブのチャーターメンバーとして、ワイズライフがスタートしたこと。その後、東京クラブやいくつかのクラブを経て、2010年から2016年まで国際書記長として奉仕されました。その後、タイ・チェンマイの国際協会サテライトオフィスの設立に関わり、現在に至っているということです。



【京都国際大会の様子と卓話をする西村さん(右上)】

ワイズ人生の一大転機は、1988年京都国際会議場で開催された「京都国際大会」に関わったこと。そして2010年、横浜で開催された「横浜国際大会」での関わりが、国際書記長への応募につながったことなど、リアルな経験が話されました。



【東京五輪・ゴルフ場での飛距離計測ボランティア】

西村さんのポジティブな考え方は、2020東京五輪へのボランティアの応募にも繋がっていきます。

「いままでボランティアをしてきて、ほんとによかったです。嫌なことなどひとつもなかった。ワイズに入ったことで充実した人生を送れている。職業は10回変えたが、10回目がワイズ国際書記長でした。」

このコメントがすべてを言い表していると感じました。すばらしい話でした。

第2部のパネルディスカッションは、相磯優子さん(Change! 2022 推進委員、沼津クラブ)がファシリテーターを務め、進められました。4つのクラブ=熱海クラブ、伊東クラブ、富士宮クラブ、東京江東クラブ=のメンバーが、クラブ独自の奉仕活動を紹介されました。4クラブのパネラーはいずれも50歳前後のワイズメンで、クラブ活動の勢いを感じました。



【パネルディスカッションの皆さん。右下は森田氏西日本区】

熱海クラブの深澤勇弘さんは独自プログラムとして、小学3年生以上を対象としたサマーキャンプ、小学生のドッジボール大会、小学3年生から中学3年生を対象としたスキー教室などを紹介されました。

伊東クラブの榎本博さんは、主に小学3年生以上を対象とした青少年キャンプ教室、軟式野球大会、ドッジボール大会、青少年スキー教室を紹介。

富士宮クラブの山本昭宏さんは、中学・高校生対象の「富士の山かみ(紙)灯りコンテスト」、「風祭川祭事10個の石」、保育・小学生向けの「神話の絵巻による読み聞かせ」などの紹介。

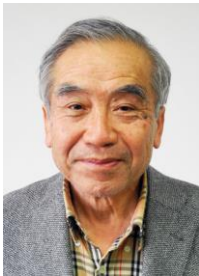
東京江東クラブの本間剛さん、相川達男さん、酒向裕司さんの3名から、幼稚園・小学生対象のワイズ杯サッカー大会、被災地復興支援熱気球チャリティ体験、カンボジアへの園児服寄贈プロジェクトなどの紹介がありました。

みなさんが異口同音に「子どもたちの笑顔が達成感となっている」と話されたことが、ワイズ活動の原動力となっていると感じました。今回の参加者は85名で、内一般参加者は10数名でした。今回は参加者が多く、しかも西日本区からの参加者が目立ちました。3回のフォーラムは参加者が多く好評だったので、今後にどのように繋げていくか検討が必要となります。

▼ 各部 会員増強事業主査より

「東新部の会員増強事業」

東新部主査 村野 繁 (東京世田谷)



わりと会員歴が短い会員の退会が目立ちます。そこで、私は会員増強のターゲットに人数を揚げることをしないことにしました。

その代わりに部内クラブには「地域奉仕・YMCA サービス事業」を推進してクラブ活動を活性化し、クラブ会員以外の共に活動する仲間を増やして、その結果として会員増強につながった！となることを期待して、地域奉仕・YMCA サービス事業主査と協働して会員増強を進めたいと思っています。

東新部のクラブでも恒例になっているプログラムがあります。

- ▼東京クラブは「江戸城ファミリーウォーク」
- ▼東京むかでクラブは「思い出のランドセルギフト」のプロジェクトを始めました。「シニア Y・Y・Y キャンプ」は恒例になっています。
- ▼東京世田谷クラブは 19 年の歴史のある歌の広場「すずらん会」【写真】は全国に広がり、宮城県の震災支援の「歌う会」は継続されています。



- ▼東京多摩みなみクラブは「ぼんぼこ農園」【写真】から始まり「プランター講座」もしていましたが、Zoom オンライン講座「第 3 回プランター講座」を始めました。コロナ禍の時代だから発想できる方法ですが、各クラブも大変に参考になるものですね。



- ▼東京町田コスモスクラブは「わくわく！科学実験教室」が恒例になっています。
- ▼東京町田スマイリングクラブは「歌声サロン」を始めました。
- ▼東京センチニアルクラブは毎年「日韓映画祭」を続けています。

▼ 2020-2021 国際協会表彰 発表

2020-2021 年度ワイズメンズクラブ国際協会の表彰が発表されました。11 月号の東日本区理事通信に掲載済みですが、本紙では、各賞の解説も紹介しながら、再度掲載いたします。

▽ エルマー・クロウ賞

あずさ部部长 御園生好子さん

任期年度中に特に傑出した働きをした部長に与えられる国際賞。

任期半ばで倒れた、カナダの元理事エルマー・クロウを記念して創設されました。区理事が評価基準に基づいて候補者を地域会長に推薦し、国際会長が最終決定します。

▽ チャレンジ 22 賞 (会員増強)

あずさ部 甲府21クラブ

チャレンジ 22 は、ワイズ創立 100 周年を迎える 2022 年 12 月末までに、100 か国で 50,000 人に会員増強しようとする運動です。

▽ チャレンジ 22 賞 (新クラブスポンサー)

関東東部 千葉クラブ

100 周年を迎える 2022 年末までに、3,000 クラブにクラブ拡張しようとする運動です。

▽ ブースタークラブ賞 (入会 6 人以上)

あずさ部 甲府21クラブ

前年 2 月 1 日から当年 1 月 31 日までの 1 年間に、6 名以上の会員純増を果たしたクラブが表彰される。

▽ ブースターメンバー賞 (入会 3 人以上)

宮岡宏実さん (甲府21クラブ)

高田一彦さん (千葉ウエストクラブ)

前年 2 月 1 日から当年 1 月 31 日までの 1 年間に、3 名以上の新入会員を紹介した個人が表彰される。

▽ 地域奉仕賞

あずさ部 富士五湖クラブ

富士五湖クラブの優れたプロジェクトに、「社会奉仕賞認定証」が発行されました。

▽ 区パフォーマンス賞 (銅賞)

東日本区直前理事 板村哲也さん (東京武蔵野多摩)

①クラブ会員総数(2 月～2 月)、②クラブ総数(7 月～6 月)、③プログラム貢献(7 月～6 月)の内、1 つ達成が銅賞。

(Change! 2022 ニュース編集長 伊丹一之 記)

▼ Change! 2022 推進委員会 上半期報告

「 Change! 2022 3年目上半期の歩み 」

Change! 2022 推進委員会委員長
栗本 治郎 (熱海)

Change! 2022 の目標は、2022 年 12 月末までに、東日本区の会員数を東日本区発足時の 1,246 名への増強です。

コロナ禍のため通常例会や多くの奉仕活動・事業が中止になるなか、1年目、2年目は会員の増強どころか減少という残念な結果となりました。このような状況の中ですが、Change! 2022 推進委員会では、上半期に2つの大きな新規事業に取り組みました。

取り組み【その1】は、『動画で分かるワイズメンズクラブ』カード【写真下】の作成です。

これは、広くワイズのことを知ってもらい、新会員獲得に繋げるためのスマホ専用 PR サイトです。知人・友人、お仕事のつながりの方にカードを渡してワイズを宣伝していただきたいと思えます。各クラブに 100 枚お送りしてありますが、すぐに足りなくなるくらいの積極的なご活用をお願いします。



取り組み【その2】は、『ワイズ・ナイトフォーラム』【写真上】の開催です。

国際協会の『EMC100日キャンペーン』に合わせて、9月から11月に3回開催いたしました。ワイズ以外の方々にもワイズの魅力を知ってもらう機会となるようなフォーラムを開催し、会員増強に繋がることを期待し企画いたしました。フォーラムは、2部構成とし、第1部は、身近で今興味のあるテーマの卓話をお願いし、

第2部では、ワイズの奉仕活動・ワイズの魅力をパネルディスカッションの形で紹介しました。

一般参加された方へのその後の声掛けを宜しくお願いいたします。

▼ 新入会員をご紹介します

会員増強事業主任 大川 貴久 (熱海)

11 月には、下記の方が入会されましたので報告します。

No.	新入会者	(クラブ名)	紹介者
1.	山崎 修	(札幌)	城井 廣邦 (東京むかで)
2.	稲葉 彩子	(宇都宮)	大久保 知宏
3.	松原 豊	(甲府 21)	宮岡 宏実

東新部 EMC セミナー

「 Change! 2022 ラストスパート 」

日時: 2022 年 2 月 12 日(土) 13:30~15:30
対面式 & Zoom

内容: 東日本区の EMC プロジェクト「Change! 2022」が 2022 年をもって最終年となります。

2019 年 6 月からスタートしたこのプロジェクトの目標は、ワイズ 100 周年となる 2022 年までに、東日本区の会員を 1,246 名にするというものです。この 3 年間のうち直近 2 年間は、想定外のコロナ禍に見舞われ、計画は大幅に停滞してしまいました。

プロジェクトを「振り返り」、最終年の 2022 年を迎えるにあたり、「ラストスパート」をかけるにはどうしたらよいか、また、「ポスト 2022」を見据えて、どのようなことが必要か、下記 3 人の発題者からプレゼンをいただき、ワイズの将来を共に考えたいと思えます。

発題者 1 伊藤幾夫 (LT 委員長、東京多摩みなみ) 「プロジェクトの振り返り」

発題者 2 深尾香子 (次期部長、東京多摩みなみ) 「ラストスパートの具体策」

発題者 3 城井廣邦 (次々期部長、東京むかで) 「ポスト 2022 を展望」

発題を受けて、グループに分かれて話し合い、グループ報告を行います。